授業科目名	開講年次	開講時期	単位数	時間数	実務経験
基礎看護学実習Ⅱ	2年次	後期	3	120	有

科目責任者	福原洋子　他
目的	健康障害をもつ対象の健康・生活上の問題を把握し、対象の理解を深めるとともに、日常生活援助を実践することで看護を展開する基本的能力を養う。
目標	1. 患者とその家族の情報をアセスメントできる。 2. 患者とその家族の、日常生活の問題点が抽出できる。 3. 対象に合わせた基本的な看護ケアを実践できる。 4. 科学的根拠に基づいた看護技術を提供できる。 5. 学ぶ者として意欲的に行動し、自己の行動を振り返り、課題を明確にできる。

内容

日	内容
1	学内オリエンテーション（実習目的・目標・方法・展開・施設の概要等） 臨地オリエンテーション
2	学内実習　基礎看護技術演習 生活環境・活動、衣生活・清潔、食事・排泄、観察・報告 リフレクション
3	
4	
5	臨床の看護師による看護技術演習
6	臨地実習 病棟オリエンテーション、情報収集
7	臨地実習 （情報収集、アセスメント、病棟の看護計画に基づいたケアの見学）
8	臨地実習 （情報収集、アセスメント、病棟の看護計画に基づいたケアの見学・実施）
9	臨地実習 （情報収集、アセスメント、病棟の看護計画に基づいたケアの見学・実施）
10	臨地実習 （病棟の看護計画に基づいたケアの見学・実施・記録整理）
11	臨地実習　　中間カンファレンス
12	臨地実習　　看護問題解決のための看護ケアの実践・評価
13	臨地実習　　看護問題解決のための看護ケアの実践・評価
14	臨地実習　　看護問題解決のための看護ケアの実践・評価
15	臨地実習　　最終カンファレンス・　記録提出

履修条件	基礎看護学実習Ⅰ、および1年次の基礎看護学の科目を全て履修済であること
評価方法・基準	実習要綱に定める